



学校だより

黄 菊

6 月 号

令和 7 年 5 月 3 0 日
立川市立第七小学校
校長 島村 雄次郎

《本校の教育信条》『我等は人間 よき人間でありたい』武者小路 実篤先生より

天国と地獄の話

副校長 伊藤 淳一

本格的な梅雨入りを前に、子供たちは毎日元気に活動しています。七小の子供たちは、素直で優しい児童が多く、温かい学校だなというのが、赴任したての副校長の今のところの印象です。

さて、1学期が始まって2か月が経過しました。子供たちは新しい環境に慣れてきた頃でしょうか。ご家庭の次に多くの時間を過ごす学校という「場」が、全ての子供たちにとって、「居心地の良い場所」であって欲しいという願いは、保護者の皆様と教職員の共通した想いであります。

「天国と地獄の話」をします。私が幼少の頃、お坊さんの説話で聞いたお話です。ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、印象に残っているのでご紹介します。

「天国」と「地獄」は、実は部屋の広さも、そこに置かれているものも全て同じだそうです。どちらの部屋にも真ん中に大きな丸いテーブルがあって、そこで食事をします。私たちの食事風景と一つだけ違うところは、1メートル以上もある長い箸を使って食事をしなければならないということ。

地獄の住人は、その長い箸で自分の口に食べ物を運ぼうとしますが、箸が長すぎて、全然口に入りません。空腹に耐えきれず、誰もが我先にと食べようとするので、ぶつかり合ってあちらこちらで喧嘩が起こる。いつまでたっても空腹で、地獄の住人はいつも、ピリピリ、イライラしているそうです。

一方、地獄と同じ1メートル以上の箸を使って食事をしているにも関わらず、天国の住人はとても幸せでした。実は天国の人たちは、その長い箸でつまんだ食べ物を、自分と反対側に座っている人に「どうぞ。」と言って、食べさせてあげていたのです。丸いテーブルを囲んでいるみんなが反対側の人に食べさせてあげていましたから、誰もが幸せな気持ちで過ごすことのできる、居心地の良い場所になりました。

このお話が教えてくれていることは、天国と地獄の違いは、「場」ではなく、そこで過ごす人々の「心」の違いだよということです。

話を学校に戻しましょう。子供と教員が多くの時間を共に過ごす教室は、広さも、備え付けの黒板もロッカーも、机や椅子といった備品に至るまでのほぼ全てが、他の教室と変わらない環境です。違いは「場」ではなく「人」。教室が温かい場所になるかそうでないかは、そこで過ごす一人ひとりの「心」が左右するということです。

我を通す誰かの満足度が120%の結果、他の我慢している子の満足度が60%ではいけません。互いに少しずつ譲り合って、全員が満足度90%の学校という「場」を作りたいと思っています。

「今日の学びに喜び（ニコニコ）を感じ、明日の学びに希望を抱く（ワクワク）第七小学校」の実現に向けて一。

今年度もよろしくお願い致します。

【6月の目標】

生活目標「安全に気をつけよう」

○室内での過ごし方を工夫する

○廊下や階段の歩き方に気をつける

給食目標「歯と口の健康について考えよう」

プールが始まります！

6月9日（月）から、水泳の授業が始まります。詳しくは、先日配付された水泳指導に関するお手紙をご覧ください。

各学年の水泳指導の時間は、以下の通りです。

時間	月	火	水	木	金
1.2		高		低	
3.4		低		中	
5.6		中		高	

低…1.2年生 中…3.4年生

高…5.6年生

※天候や週の予定によって、違う曜日になることもありますので、学年やクラスからの連絡にご注意ください。

個人面談のお知らせ

日時 1～5年 7月14日（月）～
7月18日（金）

6年 7月14日（金）～
7月24日（木）

（日光移動教室の期間は除く）

上記の日程で、保護者と担任との面談を実施します。短い時間ではありますが、学校やご家庭での様子を共有し合って、お子さんの成長の一助としていきたいと思います。

6月6日（金）頃、各担任より、日時の希望調査を行います。それをもとに日程を組み、6月下旬に確定した日程表を配付します。

ご協力よろしくお願いします。

※学校だより・学年だよりはホームページからもご覧になれます。下記QRコードからアクセスしてください。



〈七小 HP〉〈学校・学年だより〉

日	曜	6月の行事予定	授業時間					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	日							
2	月	朝会 委員会 避難訓練	4	5	5	5	6	6
3	火	安全指導	5	5	6	6	6	6
4	水	4時間授業 ALT	4	4	4	4	4	4
5	木	プール前健康相談 13:30～ 水道キャラバン4年①② 虫むし探検隊2年③④	5	5	6	6	6	6
6	金	算数道場3年 ※個人面談希望調査配布 教育実習終	4	5	5	6	6	6
7	土	小学校科学センター開校式						
8	日							
9	月	集会（企画・ユニセフ） プール開き クラブ④ 食育授業1年③④	4	5	5	6	6	6
10	火	交通安全教室（3）③④ ALT	5	5	6	6	6	6
11	水	歯科検診（全）9:00～ ALT 5年自然教室事前健康相談 13:30	4	5	5	5	5	5
12	木	ユニセフ募金 ALT	5	5	6	6	6	6
13	金	心の劇場6年 算数道場3年 尿検査予備日 ※個人面談希望調査締切	4	5	5	6	6	6
14	土							
15	日							
16	月	朝会 ハケ岳自然教室（5年）① 虫むし探検隊1年②③④	4	5	5	5	6	5
17	火	ハケ岳自然教室（5年）② みんなの下水道（4年）①②	5	5	6	6	6	6
18	水	ハケ岳自然教室（5年）③ ALT ことば吃音グループ指導①	4	5	5	5	6	5
19	木	音楽鑑賞教室5.6年③④ ALT たてわり集会	5	5	6	6	6	6
20	金	算数道場3年 ことば在籍学級訪問終	4	5	5	6	6	6
21	土							
22	日							
23	月	朝会 クラブ⑤	4	5	5	6	6	6
24	火		5	5	6	6	6	6
25	水	4時間授業 ALT	4	4	4	4	4	4
26	木		5	5	6	6	6	6
27	金	算数道場3年	4	5	5	6	6	6
28	土							
29	日							
30	月	朝会 委員会 定期健康診断終	4	5	5	5	6	6

キラリ通信

令和7年6月2日発行

全校版

特別支援教室七小キラリ

拠点校 第七小学校長 島村 雄次郎

巡回校 第三小学校長 田村 聡

巡回校 第六小学校長 田中 光晴

一人一人の得意なところを伸ばして、困っているところ、苦手なところを自分に合った学び方で分かる(できる)ようにしていくための学びの場として、各校に特別支援教室(キラリ)が設置されています。

■ 特別支援教室キラリの紹介

- ・児童一人ひとりの課題や在籍学級での適応状態などを踏まえて、指導目標を設定します。
- ・指導の内容や児童数、学年などを考慮しながら、個別指導や小集団指導を行います。
- ・キラリで学んだ内容を担任の先生と共有し、在籍学級での指導や支援に活用します。

自立活動

個々の障害による、学習上または生活上の困難を改善したり克服したりすることを目的とする指導です。
例えば…

＊ コミュニケーションの指導

実際の生活に応じたコミュニケーション方法の学習を通して、身近な人と安定したコミュニケーションがとれるように指導します。

＊ 自己理解の指導

自己の理解しやすい学習方法の学習を通して、自己の得意な方法を理解し、自分で学びやすい方法で学習できるように指導します。

＊ 人間関係の形成の指導

自己に対し肯定的なイメージを持つ学習を通して、身近な人と一緒に活動したり、意思を交換したりできるように指導します。

＊ 身体の動き、環境認知の指導

興味・関心に応じた道具を使って、手指を動かす学習を通して、作業等の際、自己調節し持続できるよう指導します。

教科的な内容を取り扱う自立活動

いわゆる補習や復習とは違います。一人ひとりの特性によるつまずき、苦手なところに特化した指導です。苦手の原因や理解の仕方などを児童と一緒に考えます。

授業への参加が難しい原因

- 状況理解(社会性)
- 見通し(時間・行動)
- 学習意欲(意味理解・価値づけ)
- 集中力(刺激)

理解する(分かる)ことが難しい原因

- 認知の偏り ■ 学習スタイル
- 複数作業の苦手さ
- 曖昧さの理解 ■ イメージの弱さ
- 反復学習が必要

＊ 教科的な内容を取り扱う自立活動の例

- ・漢字の構成
- ・言葉の意味を理解するための指導
- ・物語文全体を視覚的にとらえる指導
- ・心情理解のための指導
- ・説明文の内容理解のための指導
- ・数の概念や計算の仕組み
- ・文章問題の解釈
- ・図形問題の視覚的理解
- ・三角定規・分度器などの用具の使い方
- ・学習方法の改善指導

■ 特別支援教室キラリの対象

知的な発達には遅れがなく、自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害の傾向があり通常の学級の授業におおむね参加できているが、

- ・勉強面で得意、不得意の差が大きい。(例:計算はできるが、文章題だと難しい)
- ・相手の気持ちを理解すること、自分の感じたことを言葉で表現するのが苦手。
- ・急な予定変更や、初めての場所、初めてのものが苦手。こだわりが強い。
- ・集中力が長く続かない反面、夢中になると切り替えが難しい。

などの、発達のアンバランスや情緒面、社会性に課題のあるお子さんのための教室です。

■ 授業風景の様子



【こんなときどうする？】

集団活動で、思い通りにならないことが起きたとき、自分の気持ちに折り合いをつける方法を考え、実践にむけて練習をしています。



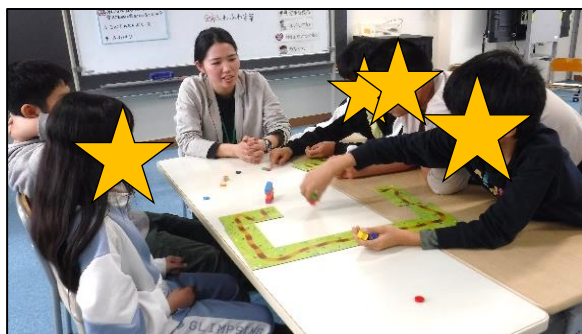
【自分の気持ちを伝えよう】

頷きや指差し、筆談等、他者とコミュニケーションをとるための様々な方法を練習しています。できたことを可視化して自信につなげています。



【微細運動、ルールの把握 など】

学級でよく使われるトランプを使って、手指の動きの円滑化や、簡単なルールの把握、友達と関わるきっかけ作りなどのめあてをもって練習しています。



【相手の気持ちを考えた言動をとろう】

集団の中で気持ちの良い関りができるよう、他者の気持ちや状況を考えながら、自分の言動をとる練習をしています。

❖キラリについてお聞きしたいこと等ありましたら、担任、特別支援コーディネーター、管理職にお声掛けください。